

4月22日[Sat]～5月7日[Sun]

©高橋宗正

いけだまなぶ

# 池田学さんの作品展 大盛況のうちに閉幕



▲展示会場の様子



▲池田さんが利き腕の右手にケガをし、左手で本格的に描き始めた作品「キリン」

多久市アート企画展「かんさつ視点 池田学とどうぶつたち」を天山多久温泉TAQUAで開催しました。世界で活躍する画家・池田学さんの作品展を故郷多久市で開いたのは今回が初めて。期間中には市内外から約7,000人の来場者をお迎えし、精緻な作品に親しんでいただきました。

会場には市が収蔵した「動物画シリーズ」51作品のほか、佐賀新聞で連載中の「マディソン日記」の原画や学生時代のスケッチブック、制作に使うペンなども展示。市外からの来場者は「繊細に描かれた毛並みがフワツとしていて、写真と見間違えほど素晴らしかったです」と笑顔で語られました。



▲展示されている動物画や貴重な資料に見入る来場者



▲企画展の感想を絵とメッセージで表現した池田学さんの後輩たち（佐賀北高校生徒）

4月18日[Tue]

## 多久聖廟で春季釈菜



▲入廟する献官の横尾市長と祭官のみなさん



▲釈菜の舞を披露する東原庫舎西溪校の生徒のみなさん

佐賀県重要無形民俗文化財に指定されている「春季釈菜」（主催：公益財団法人孔子の里）が、今年も多久聖廟で開催されました。

うららかな陽気に恵まれ、献官役の横尾俊彦市長を先頭に祭官が列をなし入廟。儀式の後は聖廟境内で釈菜の舞や唱歌、揚琴の演奏が披露されました。また、聖廟参道では孔子の里腰鼓も披露され、聖廟全体が華やかな雰囲気にもまれていました。

もくじ

- 02 まちの話題
- 04 特集1 防災情報を活用しよう
- 06 特集2 知る術は特定健診
- 08 多久市からのお知らせ
- 13 あじさいへ行こう！
- 14 教育委員会だより
- 15 市長コラム
- 16 健康ノススメ
- 18 おたっしゅだより
- 20 まちのPickUPインフォメーション
- 24 Hi! POSE ほか

今月の論語

君子懐徳、小人懐土。  
君子は徳を懐い、小人は土を懐う

出典：里仁第四

君子はよい行いを身につけることを想い、徳のない人は心身の楽なことだけを考える。

今月の帰宅放送は、東原庫舎西溪校9年の小侍 愛香さんです。